

「燕市下水道フェア 2022」を開催

－楽しみながら下水道のしくみや役割を学べるイベントです－

9月10日の「下水道の日」にちなみ、「燕市下水道フェア」を3年ぶりに開催します。当日は、汚水がきれいな水となる過程を知ることができる処理場施設探検ツアーのほか、マンホール缶バッジの製作体験などを実施します。また、来場者には花苗や肥料、下敷きなどをプレゼントします。本イベントを通して、下水道のしくみや役割を楽しみながら学んでもらい、下水道事業について理解を深めてもらいます。

【燕市下水道フェア 2022 の概要】

- 1.開催日時：9月10日（土）午前10時～午後4時
- 2.開催場所：燕市下水終末処理場（燕市東太田 2090）
- 3.内 容：

①処理場施設探検ツアー（時間制で実施）

汚れた水をきれいにして放流するまでの過程を説明しながら施設を案内します。

※案内時間：午前10時30分、11時30分、午後1時、2時、3時（計5回）

②マンホール缶バッジの製作体験（小学生以下を対象に1人1個、限定100個）

全4種類のマンホール図柄から、好きな図柄を選べます。

③下水道工事現場で働く車の乗車体験

④下水道管の点検車・清掃車の実演

管の中をカメラで確認できる点検車や、高圧洗浄できる清掃車の実演を行います。

⑤マンホールカードの出張配布

燕地区版マンホールカードを1人1枚配布します。

4.プレゼント：

①花苗・肥料（小袋）（1人1セット、限定100セット）

燕市下水終末処理場の汚泥を再利用した肥料です。

※希望者には1袋15kg入りの肥料も用意（1人1袋）

②下水道のしくみが描かれた下敷き（1人1枚）

▲燕地区版マンホールカード

③紙製マンホールコースター（1人1枚）

表面に分水地区（特定環境保全公共下水道）のデザインマンホール図柄と裏面に大河津分水通水100周年ロゴが描かれています。

※新型コロナウイルス感染症対策を実施して開催します。

